

マサバ給餌飼育中のアニサキス幼虫寄生数の変化

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-03-22 キーワード (Ja): アニサキス, 給餌飼育, マサバ キーワード (En): 作成者: 古下, 学, 前田, 俊道, 坂本, 龍亮, 福田, 翼, 辰野, 竜平, 荒井, 大介, 金庭, 正樹 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57348/00000031

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



マサバ給餌飼育中のアニサキス幼虫寄生数の変化

古下 学・前田俊道・坂本龍亮・福田 翼・辰野竜平・
荒井大介・金庭正樹

マサバ給餌飼育が魚体中のアニサキス幼虫寄生数に与える影響について、調査を行った。二つのマサバ飼育群のうち一つは、漁獲して21日後から82日後の61日間の間に、寄生率が100%から50%に減少し、平均寄生数は11.1から0.85に有意に減少した。虫体はすべて内臓部位から得られ、同定した全虫体のうち、96.1%が*Anisakis pegreffii*で、残りの3.9%が*A. simplex* ssと前者が優占した。マサバの飼育期間中に*A. pegreffii*の数が大きく減少したことから、*A. pegreffii*が飼育期間中に死亡した可能性が示唆された。長期飼育後もアニサキスが存在したことから、給餌飼育期間中にマサバ魚体中のアニサキス幼虫数が減少しても、食中毒リスクは完全には除去できないと考えられる。